

駐車場案内システムの課題と今後の展開

駐車場案内システム導入自治体の抱える現行の課題と対応策

全国駐車場案内システム推進協議会で実施したアンケート結果から、駐車場案内システムを導入している自治体において、総合都市情報システムへの発展こそが課題解決への主要な対応策であることが浮き彫りになりました。その結果を下記に示します。

	システム	維持管理	総合都市情報システムへの発展
背景	<ul style="list-style-type: none"> ●インターネット、携帯電話、カーナビ等の普及 ●中心市街地の空洞化 	<ul style="list-style-type: none"> ●中心市街地の空洞化 ●コインパーキングの増加 ●景気の低迷 ●行政の財政悪化 	<ul style="list-style-type: none"> ●インターネット、携帯電話、カーナビ等の普及 ●情報量の増加・多様化 ●ユビキタス時代の到来
現状課題	<ul style="list-style-type: none"> ●システムの老朽化 ●メーカーの技術者が少ない ●情報量が少ない ●情報の拡充・更新に対応できない ●システムの改修は財政負担が大きい ●駐車場利用者が減少 	<ul style="list-style-type: none"> ●駐車場利用者が減少 ●駐車料金の値下げ ●参加駐車場の負担増 ●参加駐車場の減少 ●メーカー独自の仕様で保守がやりにくい ●耐用年数による機器の交換時期 	<ul style="list-style-type: none"> ●既存システムの連携・統合の費用 ●参加駐車場のインセンティブ ●多様な利用者ニーズ
対応策	<p>(1) システムの更新</p> <ul style="list-style-type: none"> → システム更新のための技術的・経済的支援 → 効果分析・利用者ニーズの把握 → 民間活力の導入 <p>(2) システムの再検討</p> <ul style="list-style-type: none"> → 適正化法との整合 → 初期投資の負担がある加入駐車場の合意 	<p>(1) 維持管理費の縮小・参加駐車場の負担適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> → 全国統一システムの構築 → 管理委託による管理の簡素化 <p>(2) 管理維持費の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> → 助成措置 	<p>(1) 総合都市情報システムへの発展</p> <ul style="list-style-type: none"> → カーナビ・VICS・携帯電話との連携 → 施設案内、観光情報等の提示 → 更新に向けた助成措置(まちづくり交付金等の活用) <p>(2) 関連事業との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> → 駐車場から先の誘導(パーク&バス・サイクルランド等) → ICカードによる駐車場利用割引制度、買物ポイントカード

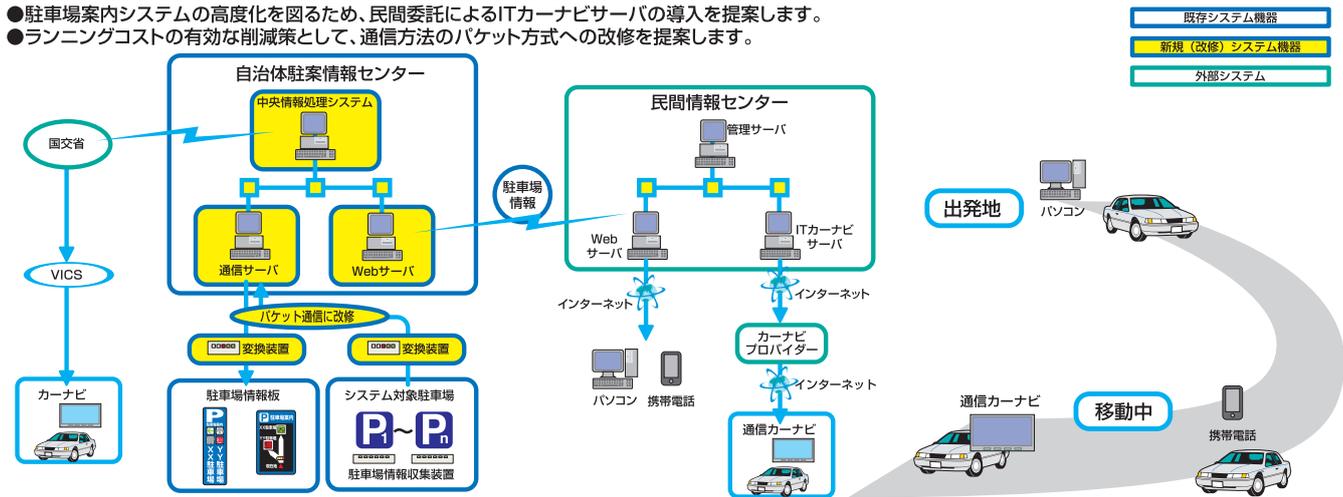
今後の駐車場案内システムの総合都市情報システムへの発展

国土交通省では、駐車場案内システムの高度化やリニューアルを推進し、今後の都市活性化策として寄与できる下図のような「総合都市情報システム」へと発展させていくことを検討しております。

これを受け、PANACでは現行の駐車場案内システムのランニングコストの低減策及びシステムの高度化策を、次のように提案いたします。

駐車場案内システムの高度化及びランニングコスト低減策のイメージ

- 駐車場案内システムの高度化を図るため、民間委託によるITカーナビサーバの導入を提案します。
- ランニングコストの有効な削減策として、通信方法の packets 方式への改修を提案します。



総合都市情報システムのイメージ

